

お客様各位

GDAP (Granular Delegated Admin Privileges) の導入

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、貴社にてご利用いただいておりますマイクロソフトクラウド製品のサポートに必要な管理者権限について、マイクロソフト社より新しい取り組みの発表がありましたので詳細をご案内いたします。

マイクロソフトのライセンスプログラムでは、お客様に問題なく製品をご利用いただけるよう、弊社のようリセラーがそのサポート支援を担っています。つまり、弊社経由でご購入いただいたクラウド製品に何か問題が発生した場合は、弊社がお客様の代理という立場でマイクロソフトに対して技術サポートを要請しております。その際に必要になるのが代理管理者権限と呼ばれる DAP (Delegated Admin Privileges) です。DAP は、初回ライセンスご購入前に対応いただきました、再販業社 (リセラー) のご承認の際に自動的に付与されており、これまで必要に応じてマイクロソフトにサポート要請をしておりました。また弊社にて新規でテナントの作成 (ドメインの取得) を実施した場合は、テナント作成時に自動的に付与されておりました。

しかしながら、DAP で付与される権限が広範囲であることから、セキュリティ強化のためにマイクロソフトが新たに GDAP (Granular Delegated Admin Privileges) と呼ばれる新しい代理管理者権限のしくみをリリースいたしました。GDAP では、名前の通り、機能・役割ごとに権限設定が可能になります。例えば、弊社から Dynamics 365 Business Central と Power BI ライセンスをご購入いただいたお客様の場合、以下の 3 つの管理者権限を弊社に付与いただく必要がございます。

- Dynamics 365 管理者
- Power BI 管理者
- サービスサポート管理者

GDAP では、グローバル管理者相当の強い管理者権限から、弊社が販売していない製品の管理者権限まで、役割や目的に応じて非常に細かい権限の種類が用意されていますが、様々なリスクを鑑み、サポート提供に必要な最低限レベルの権限のみご承認をお願いいたします。尚、上述の通り、GDAP はご購入いただいたライセンスに応じて設定が必要です。そのため、後日別製品のライセンスをご購入いただく際には、追加で権限付与のご承認をお願いいたします。さらに、GDAP には有効期限がございます (最長 730 日)。そのため、期限が近くなりましたら、更新のお手続き依頼させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

今後の予定ですが、DAP から GDAP への移行ステップとして、マイクロソフトが設定した限られた期間内に、弊社による自動移行を実施いたします。その後、お客様毎に必要な権限設定について、弊社営業またはサポート担当より個別にご相談させていただき、あらためて GDAP のご承認をお願いする予定です。これは、マイクロソフトが設定した移行期間に限りがあること、またお客様のサポート体制に影響が出

ないようにするためです。

GDAP の承認方法は、別紙「GDAP 管理者リレーションシップの承認手順」をご参照ください。また、本件についてご不明な点等がありましたら、営業担当またはサポート担当までお問い合わせをお願いいたします。

株式会社パシフィックビジネスコンサルティング
営業本部